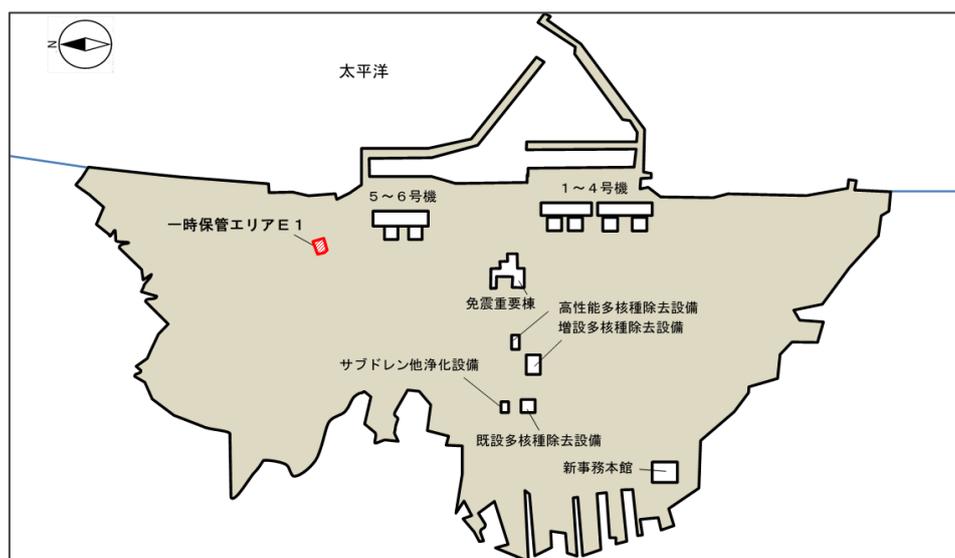


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年8月3日（火）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアE1
- 3 確認項目  
瓦礫類一時保管エリアE1における収納容器の内容物確認状況
- 4 確認結果の概要

令和3年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管していた収納容器（コンテナ）から放射性物質が漏えいした事象が判明したことを踏まえて、東京電力では過去に保管したコンテナに内容物の把握が困難なものなどが存在するとして点検作業を進めており、本日（8月3日）より、コンテナの内容物確認が開始されたことから、一時保管エリアE1での作業状況を確認した。（図1、写真1）

- ・同エリア北側においてコンテナ蓋の開放作業が実施され、コンテナ蓋の開放後に内容物の確認や放射線量率の測定等が実施されていた。（写真2）
- ・内容物の確認が行われたコンテナ内には鉄くず等の瓦礫が収納されていた。（写真3）
- ・東京電力によると内容物の確認を実施するコンテナは4,011基あり、内容物確認作業の完了時期は11月を予定しており、コンテナ番号と内容物の紐付けをシステム管理するとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
一時保管エリアE1の外観  
(エリア北西側から撮影)



(写真2)  
コンテナの内容物確認の状況



(写真3)  
コンテナの内容物の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。